



---

都市と地域の人をつなぐ

# 里都(さと)プロジェクト

第六回・里都づくりフォーラム開催レポート

【開催日:2012年6月16日(土)】

---

都市と地域の人をつなぐ  
里都プロジェクト

# 「里都(さと)プロジェクト」について

里都(さと)プロジェクトとは、  
「都市」と「地域」との新しいつながり方・関わり方を、実践から学び、考えていくプロジェクトです。

「持続可能な幸せを感じる社会づくり」、重要なキーワードだと思います。  
この新しい社会づくりのためには、「都市」と「地域」との新しい関係性を模索し、先行事例に学び、育んでいくことが重要ではないかと考えています。

そこで里都(さと)プロジェクトでは、  
「様々な地域で、都市と地域をつなぐ活動を行っている方々」と、  
「都市に住み、地域との縁をつくりたいと考える方々」との出会いの場をつくり、  
お互いが学びあい、双方にとって新しい関係性を培うきっかけづくりに取り組んでいきたいと考えています。

都市生活者



都市と地域をつなぐ活動を行っている方々



地域生活者



## 【里都プロジェクト】

- ・コアメンバー: 大木浩士、有福英幸、濱谷玲子
- ・主な活動内容: ネットワークづくりフォーラムの企画運営、WEBサイト等による情報発信、地域体験ツアーの企画運営、など
- ・WEBサイト: <http://www.satopro.jp/>
- ・お問い合わせメールアドレス: [info@satopro.jp](mailto:info@satopro.jp)

# 第6回・里都づくりフォーラム 開催概要

\*\*\*\*\*

■ゲスト： 竹内千寿恵(たけうち ちずえ)さん (東京都小平市)

■開催日時： 2012年6月16日(土) 14:00～17:00ごろ (開場 13:40)

■開催場所： 赤坂パークビル・6階会議室

■参加者： 30名

\*\*\*\*\*



=====

NPO法人Mystyle@こだいら代表理事  
広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会幹事  
多摩CBネットワーク世話人  
嘉悦大学非常勤講師  
小平市「行財政再構築推進委員会」委員

=====

商店街生まれの商店街育ち。  
大学卒業後、教育出版会社で編集に従事。  
結婚後、1～2年おきに8回の転勤生活。  
その間の出産、子育ておよび両親の遠距離介護を通じて、少子高齢化の時代の、地域のサポートの重要性を実感。  
その体験がベースとなり、コミュニティビジネスをとおして、自分らしい働き方と安心して暮らせる地域づくりを志す。  
2006年11月、コミュニティビジネス活性化を目指しNPO法人Mystyle@こだいら設立。  
「家族が暮らす町で仕事をしながら、自分らしく生きていきたい」が設立時の思い。



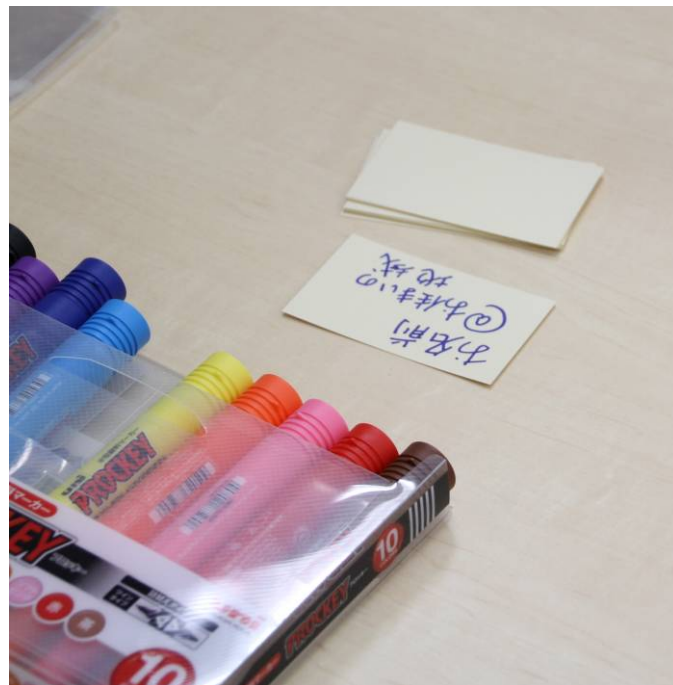
# 東京都小平市の風景





# オープニング

参加者は25名。冒頭、「里都プロジェクト」発起人の大木から、「プロジェクト設立の背景」について説明をさせていただき、自己紹介の時間を設けました。



# ゲスト: 竹内千寿恵さんからのお話

第6回フォーラムのゲスト(里都ナビゲーター)、「Mystyle@こだいら」代表理事 竹内千寿恵(たけうち ちずえ)さんよりお話をいただきました。





# ゲスト: 竹内千寿恵さんからのお話



・地域にはSOSを出している人がいます。そしてそのSOSに応えられる人もいます。しかし、その二者を結びつける仕組みがありません。私がコミュニティビジネスに関わろうと思ったのは、そんな気づきからです。

・「**Mystyle@こだいら**」は、民設民営のコミュニティビジネス中間支援組織です。「住んでいるまちで自分らしく働く(ワークライフバランス)仕事作り」と「暮らしやすくあたたかみのある住み続けたいまちづくり」をコミュニティビジネスで実現することを目指しています。

・立ち上げ時のスローガンは、「**好きなまちで 好きな仲間と 好きな仕事を**」です。

・コミュニティビジネスとは、「地域の資源をいかし、ビジネスの手法で、地域の課題解決と地域産業の育成・地域雇用創出を目指す民間事業」です。地域の課題を解決していたのは、今まではボランティアでした。しかしボランティアだけだと、どうしても限界が生じてしまいます。市民活動の自立した姿として、コミュニティビジネスは有効な手法だと考えています。

・コミュニティビジネスでは、**あらゆるものが活用資源**になります。人材資源(知識・技術など)、自然資源(地質・生態系など)、情報・教育資源(大学・研究機関など)、歴史・文化資源(景観・史跡など)、産業、資金など。そしてそれらをつなぐネットワーク資源も非常に重要な資源です。

・**コミュニティビジネスは、「リアルRPG」**だと思います。まずは情報を集めることが重要です。くまなく人に話を聞いていきます。そして仲間をつくります。様々なタイプの仲間でチームを作ることが大切です。

・小平市で始まっていることは、既存のセクターを超えた、同時多発「部活的」まちづくり活動です。

・誰かが新しい取り組みを始めます。すると「タガ」が外れ、「あ、やっていいんだね、こういうこと」と市民が思うようになります。そして同時多発的に様々な動きが起こっていきます。

・例えば「**ブルベーププロジェクト**」これは、小平市職員+大学生+市内事業者ではじまったプロジェクトです。また「**こだいら奏でるマップ**」という活動もあります。これは、小平市職員+コミュニティカフェで出会った人々+小平市民で進めているプロジェクトです。

・多摩エリア全体では、「**多摩CBネットワーク**」という活動体が起こっています。多摩地域で開催されたシンポジウムがきっかけとなりスタートしました。この取り組みが契機となり、3年間で多摩全域にコミュニティビジネスが広がっていきました。

・「多摩CBネットワーク」のメンバーは、「発足時40名→2012年6月現在314名」となりました。個人、NPO、行政、企業、経済団体、金融機関など、多彩なセクターの方々が参加しています。

・地域には、情報を身にまとい伝えていく「**風の人**」と情報を得てビジネスを形にしてい「**土の人**」がいます。コミュニティビジネスをつくっていくためには、風の人であり、同時に土の人であることが重要だと思います。

・「**ハブ(ネットワークの中心)**」になる方とともに、「**コネクター(異なるネットワークとネットワークを結び付ける)**」の役割を担う方が大切だと思います。

・コミュニティビジネスを育む創発的地域ネットワークの本質は、豊かな「ソーシャルキャピタル(人と人との信頼関係の蓄積)」だと思います。

・どうやって生きていきたいかは、どうやって生を終えたいかということかもしれません。地域コミュニティで仕事をつくるということは、どう生きていきたいかを考え、自らそれを作ること。リタイアした後も長く続く時間の中で、あなたは、どこで、だれと、どんなふう生きて、生をまっとうしたいですか？

# ゲスト: 竹内千寿恵さんからのお話

好きなまちで 好きな仲間と 好きな仕事を



はじめはPTA仲間

やる気(野望!)とまちへの愛はいっぱい。  
だけど働くスタートラインにもたてない現実。

**なければつくろう! 自分らしい仕事!**

NPO法人Mystyle@こいだいら

©Mystyle@codaira

5

コミュニティビジネスは、リアルRPG

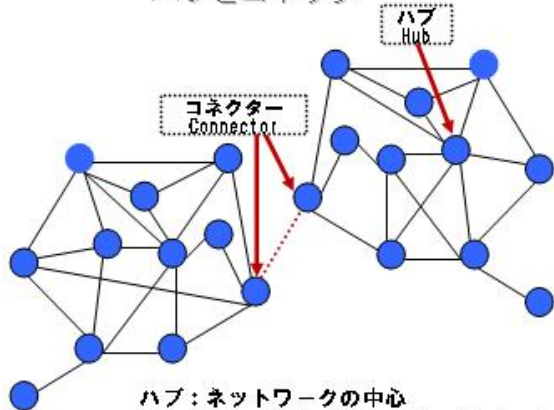


NPO法人Mystyle@こいだいら

©Oritsu Takachi

15

ハブとコネクター



ハブ: ネットワークの中心  
コネクター: 異なるネットワークとネットワーク  
を結び付ける役割を果たす

NPO法人Mystyle@こいだいら

©Mystyle@codaira

38

## 風の人 と 土の人

現場では、具現化できないものは  
「絵に描いた餅」

風であり、土であることが  
CBには必要

NPO法人Mystyle@こいだいら

©Mystyle@codaira

32



# 参加者同士の対話

「竹内さんのお話を聞いて印象に残ったこと」などについて、参加者同士で話し合いを行う時間を設けました。



# 小平市 市民生活部 河原様からのお話

今回のスペシャルゲスト 小平市・市民生活部の河原様より、行政の立場から「市民協働」や「コミュニティビジネス」についてお話をいただきました。





# 参加者同士の対話

席替えを行い、「自分の地域でコミュニティビジネスを起こすとしたら、どんなことが考えられるか？」をテーマに話し合いを行いました。話し合いの後、竹内さんと河原さんへの質問の時間を設けました。





# 小平市の紹介

最後に、小平市の魅力や体験企画・イベントなどについてご紹介をいただきました。

## 小平紹介動画「HappyTown」

[http://www.youtube.com/watch?v=n99rTdWQkVQ&feature=player\\_embedded](http://www.youtube.com/watch?v=n99rTdWQkVQ&feature=player_embedded)



## 小平ふるさと村





# 懇親会

フォーラム開催後、竹内さん、河原さんを交えて懇親会を開催しました。

